

親子でいっしょにあそぼう

ねらい	<ul style="list-style-type: none">● 親と子のふれあいや一緒に遊ぶことが子どもの情緒の発達に及ぼす影響について情報や知識を提供し、親と子のふれあいや一緒に遊ぶことの大切さについての気づきと理解を促す。● 親にとって子育てがより楽しくなるよう、また、親子が一緒に遊ぶことで子どもの健やかな育ちにつながるよう、わらべ歌や手遊びを提供する。● 一人一人の子どもの育ちには、それぞれに違いがあることについて理解を促し、子育ての不安や悩みの解消を促す。● 参加者がそれぞれ抱える不安や悩みを語り、他の参加者や支援者がそれを聴き、共感し、語り合うことで参加者の不安や悩みを和らげる。● 参加者同士が活発に意見を交流できる場を設け、仲間づくりを援助する。
概要	<ul style="list-style-type: none">● 最初は講義形式で、遊びが子どもの育ちにいかに大切であるかを学び、グループワークを交えながら、家庭にある日用品などを使った手作りおもちゃや子守唄、伝承遊びや手遊びなどを親子で一緒に実技形式で実際に行う内容となっている。● グループワークでは、参加者が、お互いのいろいろな意見を聴くことで、悩んでいるのは自分だけではない、みんな一緒だという気づきや孤独感・悩みの軽減や解消につなげる。
ポイント	<p>【話し合いのテーマ】</p> <ul style="list-style-type: none">● 講義や実技を活用し、テーマを設定して参加者自身が考え、さらに、考えたことを参加者相互で話し合うことを促す。テーマについては、次のテーマの全部または一部を活用すること。<ul style="list-style-type: none">◆ 子どもの育ちの過程において、様々な遊びが子どもの育ちにどのような役割を果たしているのか。◆ 子どもとふれあうことや一緒に遊ぶことが、親にとってどのような機会となっているのか。◆ 遊びが示す子どもの育ちは、どの子どもも同じように進んでいくのか。 <p>【提供する知識等】</p> <ul style="list-style-type: none">● 子どもの成長に即した子守唄、わらべ歌、手遊びや身近な物を利用した遊びを提供し、子どもへのかかわり方についての知識を伝える。● 子どもの育ちや遊びに関して次の知識や考え方の全部または一部を伝える。<ul style="list-style-type: none">◆ 子どもの育ちの順序や速度には個人差があること。◆ 様々な遊びが子どもの運動機能や社会性の発達において大切であること。◆ 親子でふれあうことの大切さ。◆ テレビ、ビデオ、ゲームなどのかかわり方が、子どもの育ちと親子の関係に与える影響。
事前の確認事項	<ul style="list-style-type: none">● 遊びについての学び、仲間づくりの場となるか。
準備物	<ul style="list-style-type: none">● 名前シール ● わらべ歌 ● 手遊び ● 絵本 ● 資料(P10)

プログラム進行例

時間	展開	ポイント・留意点
	名札付け(各自記入)	<ul style="list-style-type: none"> ● 全員が名札をつける(親・子ども共) ● ニックネームでもOK ● 可能であれば、あらかじめグループ分けしておく
10分	あいさつ ワークの主旨説明 自己紹介 アイスブレイク	<ul style="list-style-type: none"> ● 今日のプログラムのねらいについてポイントをしぼりわかりやすく説明する ● 和やかな雰囲気づくりに配慮する ● 親子で手遊びをする
10分	ワークの導入 ☆講義形式	<ul style="list-style-type: none"> ● 親子で遊ぶ ● いろいろな遊びが神経や大脳を刺激し、心身の発育を促し、成長発達に大切であることを伝える ● 子守唄、伝承遊びの大切さを伝える ● 日用品や不用品など何気ないものを使った手作り遊びの紹介 ● 外遊びや自然体験の大切さを伝える ● 子どもの頃、楽しかった遊びを一言ずつ発表する
20分	グループワーク ☆実技形式	<ul style="list-style-type: none"> ● 一緒に遊びましょう ● わらべ唄や手遊びの仕方を教える ● 子どもの成長に即した子どもの遊びとそこのかかわり方の知識を伝える ● 親子でふれあうことの大切さを伝える
15分	振り返り ● 意見交流	<ul style="list-style-type: none"> ● 意見を共有しあい、情報交換する ● 楽しく遊ぶことが大切である ● 生活の中での経験が遊びにつながる
10分	まとめ ● 質問	<ul style="list-style-type: none"> ● 運動発達の順番や速度はまちまちである ● 遊びが広がると事故や誤飲が起こりやすいので事故防止が必要である ● 絵本の読み聞かせも大切であるが、普段の生活での子どもへの語りかけは心のつながりを作る ● テレビ・ゲームとのつきあい方を考える ● まとめとして伝える <ul style="list-style-type: none"> ・ 子どもの育ちには個人差があり、興味や遊び方にも個人差があっても良い ・ 一緒に楽しく遊ぶことで親子のコミュニケーションが育まれていく ・ 外遊びは社会性や人との関係を培う機会であり大事である ・ 自然にふれあうことの大切さ ● 質問については丁寧に受け答えをするように心掛ける

資料

■ 「わらべ歌」「手遊び」について伝えたいポイント

温かいふれあい遊びの中で信頼感や安心感を培い、人との関係を深める大切な役割を果たしている。

- * 大人も子どもも一緒に楽しめる。
- * 道具を何も使わないでできる。
- * どんな場所でも気軽にできる。

■ 絵本の読みきかせについて伝えたいポイント

絵本の楽しさを感じたり、想像力を育むことができる。また、子どもと絵本を読むひとときは親子の心が通い合い、絆が結ばれていく、子どもにとっても親にとっても至福の時となる。